



伊藤 欽一 議員

町民の期待に応える決意は

役場はサービス業との認識で対応する



親しまれる庁舎を目指して来庁しやすい玄関づくりを

質問 一期目は、生活道路の舗装整備支援、空き家解体費の補助、高齢者先進安全自動車購入費補助、舟形クリニックの誘致、鮎釣り甲子園の開催など、多方面にわたる事業の取り組み、また、平成30年8月の豪雨災害の対策等については評価するところですが、二期目に向けて町民から、役場に入りやすく、親しみが持

町長 2月に執行されました町長選挙は無投票という結果でありましたが、町民の皆様から白紙委任されたわけではないことを、しっかりと肝に銘じて一生懸命に、且つ全力で

質問 給付金が指定口座と違う口座に振り込まれた保護者がいたが、役場全課に共通する問題であり、内容について課長会議などで共有化が図られたのか。個人情報保護の観点からも緊張感のある業務の遂行と管理の徹底を図り、町民から不信感を持たれることのないように。また、口座の保存期間についての検討はなされたのか伺います。

町民の口座管理は徹底されたのか
リスク管理上から
保存期間はそのまま

町長 本事業については、町の担当者が当該請求者が以前使用していた口座情報を入力してしまい、後日、当該請求者から、振込先が違う旨のご指摘をいただいたものであります。8月1日の定例課長会議において、全庁共通の課題として取り上げ、再発防止に向け、口座振替の振込先、具体的には銀行名、支店名、口座名義及び口座番号をよく確

認し、誤りがないよう起票するよう指示をいたしました。口座の保存期間を定めて管理すべきことですが、町の指定金融機関、民間金融機関に確認したところ、口座の保存期限はなく全て蓄積されることでした。町としても、リスク管理という意味において、記録は残すべきと考えているところです。



複数の口座登録をしている場合は、入金・振込番号の再確認



百歳体操で100まで頑張っぺ

質問 健康寿命延伸の課題として、「フレイル対策」の必要性が提唱されています。フレイルの予防策として、生活習慣病の予防を行い、運動機能、認知機能の低下を防ぎ、社会的に関わりを保ち続けることが大切であると言われており、保健と介護が一体となった事業展

町長 「フレイル」とは、加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下した「虚弱」な状態を指し、そのような状態になるのを防ぐことが「フレイル対策」と言われており、日本老年医学会が平成26年に提唱したものです。現在、町が取り組んでいる「100歳元気プロジェクト」は、まさにフレイルに対する予防策であると考えています。国では、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業の医療保険と介護保険とが連携し、フレイル対策事業を実施する予定であり、町としても国、県の動向を踏まえ

開が必要と考えます。町長の考えを伺います。

質問 近年の生活環境の変化に起因して、インフルエンザ、風疹など急激に蔓延する傾向があります。町民一人ひとりが、常に健康管理に努めているものと思いますが、今般の「新型コロナウイルス」による肺炎などは、自己管理で済む話ではない問題です。町民の不安を払拭し、安心・安全で暮らすための対策等について、町長の考えを伺います。

町長 本町では「新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づく「山形県新型インフルエンザ等対策行動計画」を踏まえ、「舟形町新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定しています。県計画の対象は、「新型インフルエンザ」と「新感染症」であり、今回の「新型コロナウイルス」対策についてもこの計画に沿って取り組みを行うことになっています。

今回のような想定外の感染症などについては、

ながら、健康寿命延伸に資する取り組みを実施していきたくと考えています。

県と連携を図りつつ、町の行動計画に沿いながら対策に取り組み、町民の生命及び健康を保護し、住民の皆様の安心・安全な暮らしを守るように万全を期していきたいと考えています。

感染症対策でちょっと寂しい卒業式



斎藤 好彦 議員

健康寿命の延伸策は

100歳元気プロジェクトで対応



感染症対策でちょっと寂しい卒業式